

小児がん フォローアップ 研究助成発表 シンポジウム



平成28年 **4月23日(土)**
13:30~17:00(開場13:00~)

会場 日報ホール
新潟市中央区万代3丁目1-1 メディアシップ2階

●プログラム

13:30 理事長挨拶 石田也寸志

●座長 今井 千速 先生
(新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野准教授)

13:35 **小児がん経験者の生涯コホート研究**
～ 聖路加国際病院におけるパイロットスタディー
小澤 美和 先生 (聖路加国際病院 小児科医長)

14:00 **小児期AYA期発症がん経験者の就職活動の実態と
情報・支援ニーズに関する研究**
高橋 都 先生 (国立がんセンターがん対策情報センター部長)

14:25 **陽子線照射を受けた小児がん患者における予後調査**
福島 紘子 先生 (筑波大学 助教)

14:50 (休憩10分)

●座長 松本 公一 先生 (国立成育医療研究センター小児がんセンター長)

15:00 **小児がんで入院中の高校生の教育支援に関する
実態調査**
川村眞智子 先生 (埼玉県立がんセンター血液科医長)

15:25 **小児がん経験者の歯科領域における晩期合併症の
実態調査に関する研究**
金沢 英恵 先生 (国立成育医療センター フェロー)

15:50 **小児がん経験者の成人期移行医療**
石田也寸志 先生 (愛媛県立中央病院小児センター長)

●座長 石田也寸志・林 三枝

16:20 研究発表全体に関して総合討論(30分)

16:50 主催者代表挨拶 北川 栄資 (新潟南ロータリークラブ会長)

16:55 終りの挨拶 林 三枝
(認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト副理事長)



イラスト エイキミナコ

参加無料 定員 200名

参加には事前申込が必要です。

右記アドレスへ参加者名をご連絡ください。 E-mail: cchwplala.to

主催/新潟南ロータリークラブ

認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト

協力/ハートリンク

後援/厚生労働省・新潟県・新潟市・新潟県医師会・新潟市医師会・新潟県小児科医会・新潟県看護協会・新潟日報社・NHK新潟放送・BSN新潟放送・N S T・TeNYテレビ新潟・UX新潟テレビ21

認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト

過去には不治の病であった小児がんも、現在の医療ではその70～80%が治る時代になりました。毎年約2,000人の子供たちが発症し、治療終了後の小児がん経験者は現在全国に10万人以上いると推測されています。

しかしながら成長過程での治療のため、治療の長期的な影響(晩期合併症)という問題を抱えている人が半数以上いるとわかっています。多くの小児がん経験者は社会で活躍していますが、一部、晩期合併症を持つために就労の機会に恵まれず、経済的自立に苦労し、社会から孤立してしまう人たちも私たちの厚労省がん臨床研究での調査では6,000人強いる事も分かってきました。

そこで、新潟日報社様のご協力により、平成25年から認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクトでは、このような就労の機会に恵まれない小児がん経験者に、働きながら社会に通用する能力・知力・技術等を習得してもらい、将来的には一般企業への就職支援をし、自立した社会生活を営む事ができるように支援しています。現在7名を採用し、その内2名は一般社会へ巣立っています。新潟市をモデルケースとし、成功例を確立することでこの職業訓練を兼ねた自立支援事業が全国に広まっていくことを望み、一人でも多くの小児がん経験者が社会から孤立しない事を願い活動しています。

ハートリンク

小児がんを経験した人たちは、病気で入院した時に支払われる医療保障がついた生命保険の加入が困難な事から、お互いを助け合う互助会という形で「ハートリンク共済」を平成17年6月に立ち上げ既に600万円以上の入院見舞金を支払っています。

小児がんフォローアップ研究助成事業

本事業は、NST新潟総合テレビ様からの寄付金により行われています。

小児がんフォローアップ 研究助成発表シンポジウム

日時 平成28年 4月23日(土)
13:30～17:00 (開場13:00～)

会場 日報ホール
新潟市中央区万代3丁目1-1
メディアシップ2階

交通アクセス

- 新潟駅から タクシー…………… 約5分
徒 歩…………… 約10分
- 新潟空港から バス(新潟駅まで) 約25分
タクシー…………… 約15分

